

健康
医療
保健

看護の存在を感じる1日
ナイチンゲールフェスティバル開催



講演する達川さん

庄原市の地域医療を考える会(庄原市医師会・庄原市・庄原赤十字病院)が主催する「ナイチンゲールフェスティバル」が10月14日、庄原市民会館で開催されました。

これは、市内の看護に関する現状を知ってもらおうと昨年から始まった催しで、看護師の育成支援も目的にしています。

初めに、市の保健師、庄原赤十字病院の看護師から日ごろの活動の報告講演があり、続いて、元広島東洋カープの達川光男さんが「苦しみを笑いに変えた野球人生」と題し、特別講演を行いました。達川さんは、これまでに経験

した苦しい思い出などを、広島弁を交えてユーモアたっぷりに講演し、来場者の笑いを誘っていました。

会場ロビーでは看護に関する展示コーナーが設けられ、笑顔写真を撮影するコーナーやハンドマッサージなどに人気が集まっていました。

生涯
学習

フットサルの基本を学ぶ
レベルアップスポーツ教室

庄原市レベルアップスポーツ教室を9月27日、かんぼの郷フットサルコートで開催しました。

この教室は、トップアスリートなどスポーツ競技の専門家を招き実施しているもので、今回は、本年度新しくメニューに加えたフットサルを実施しました。

フットサルはサッカーボールより一回り小さいボールを用いて、テニスコートより一回り大きい程度のコートで5人対5人で行うサッカーとよく似た競技です。

当日は市内の小・中学生11人が参加。日本サッカー協会フットサルC級ラ

報
策
情報

超高速情報通信網整備に関する
提言まとまる
検討委員会が市に提言書を提出

昨年11月に市が示した超高速情報通信網整備の方向性について検討を行ってきた庄原市情報通信整備検討委員会(委員長・村山秀次郎広島経済大学教授)の提言がまとまり、10月23日、滝口季彦市長へ提言書が手渡されました。

提言では「できるだけ早期に世帯や事業所のカバー率が高い都市計画区域および支所周辺から整備し、その他の地域へ整備エリアを広げていくべき」とし、「整備手法は、無線や光通信技術の動向、利用者の状況をもとにタイムリーに再検討すべき」、「最終的には市内すべての世帯や事業所でより高速な情報通信が利用できるようにしていただきたい」と述べられています。

今後、市はこの提言に基づいた事業実施に向けて事務を進めていく予定です。



講師から練習法を教わる参加者



滝口市長へ提言書を手渡す村山委員長(中央)と藤谷善久副委員長(右)